



Toyama New Industry Organization

イノベーション推進センター

産学官の連携とイノベーションの推進による
富山ならではの新産業の育成・創出

5. 産学官連携の推進

■ 成長産業分野への取組み

「グリーン(再生可能エネルギー、資源循環等)」、「モビリティ(次世代自動車等)」、「デジタル技術基盤(ロボット等)」の成長産業分野への県内ものづくり関連企業の取組みを進めるため、技術セミナー、少人数での研修や先進地視察等の研究会活動で最新の情報提供や情報交換の場を提供し、ネットワーク形成を図ります。

■ サーキュラーエコノミーの推進

サーキュラーエコノミー(循環経済)を推進するため、異業種連携による新たな価値創出に向けたカンファレンスを開催し、情報発信を行っています。



■ 企業におけるデジタル化の推進

IoT等、デジタル技術の初期導入に関する相談窓口を設け、総合的な対応を行います。DX総合アドバイザーが企業での出前講座などを通して、県内企業のデジタル化推進のための課題解決に向けた提案から実証試験までを伴走支援します。

■ アルミ産業成長力強化戦略の推進

アルミ産業の振興に向けて、アルミのグリーン化に関する産学官連携研究開発への支援や研究会活動、県内外学生のインターンシップ等の人材育成を行っています。

■ ヘルスケア産業育成創出の推進

健康・医療・介護等に係わるヘルスケアに関する研究会を設置し、セミナー開催、コーディネーターによるマッチング活動、ヘルスケア製品開発、展示会出展等の支援をします。



6. 新産業・新技術の創出支援

産学官オープンイノベーションの推進

グリーン、モビリティ、デジタル技術基盤等の成長産業分野において、産学官グループから研究開発テーマを公募し、新商品・新技術創出に結びつく研究開発を支援します。

〔重点支援分野〕
再生可能エネルギー、水素・アンモニア、蓄電池、
カーボンリサイクル・マテリアル、資源循環、次世代自動車

	複数企業枠	単独企業枠	サーキュラーエコノミー推進枠
助 成 率	2／3※		
助 成 期 間	最長3箇年度	最長2箇年度	
助成限度額	1,000万円／年	500万円／年	

※ただし、県内の大学・公設試等との共同研究開発経費は10/10。

〔成長産業分野全体〕

助 成 率	2／3※	
助 成 期 間	最長2箇年度	
助成限度額	300万円／年	

※ただし、県内の大学・公設試等との共同研究開発経費は10/10。

ものづくり研究開発支援
(とやま中小企業チャレンジファンド事業)

県内中小企業者(グループ含む)の新商品・新技術の研究開発等による競争力強化の取り組みに対し助成します。

助 成 率	1／2
助 成 期 間	最長2箇年度
助 成 限 度 額	200万円

※ただし、工具器具・備品費の助成額は100万円以内。

成長型中小企業等研究開発支援

特定ものづくり基盤技術の高度化に資する研究開発について、中小企業等及び地域の大学等との研究機関等が連携して行う取り組みを支援する事業※に関し事業管理機関として支援します。
※本事業は経済産業省が実施する事業です。

助 成 率	(1)中小企業等:2／3以内 (2)大学・公設試等:定額
助 成 期 間	2年度又は3年度
助 成 限 度 額	通常枠:単年度あたり4,500万円以下 2年間合計で7,500万円以下 3年間合計で9,750万円以下

7. 富山県ものづくり研究開発センター

富山県ものづくり研究開発センターの概要

センターは富山県産業技術研究開発センターと新世紀産業機構が共同で運営しています。
10m法の電波暗室、最先端設備等設置スペースであるデジタルものづくりラボ、高機能素材ラボ、CNF 製品実証試作ラボ、製品機能・環境負荷評価ラボ、オープンイノベーション・ハブと、研究開発スペースである開発支援棟で構成されています。

最先端設備の開放

- 企業や大学に広く開放します。
- 最先端設備は利用者自らが操作することができます。また基本操作や高度に利用するための技術講習を行います。

研究開発プロジェクトの推進

- 開発支援棟の企業スペースやプロジェクトスペースを活用した研究開発を推進します。
- 異分野融合による技術シーズを創出し、研究開発プロジェクトに繋げる研究会を実施します。

実践的なものづくり人材の育成

- 実践的で高度な知識を有する人材育成のため、長期インターンシップの受け入れや、人材育成講習会を実施します。
- 共同研究方式による企業の若手技術者の育成に取り組みます。

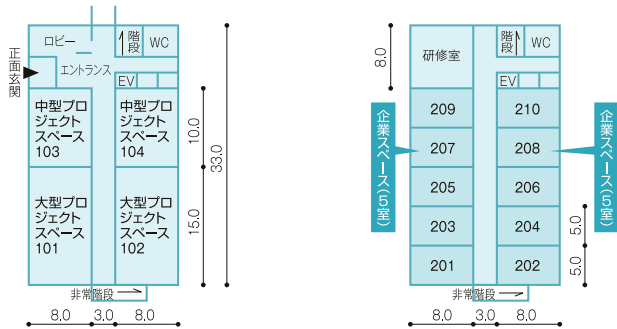
異分野・異業種交流の促進

- 異業種交流セミナーや研究会を開催します。
- 知的所有権センターとの連携により、個別企業の知的財産の一層の活用を図ります。

開発支援棟の研究スペース

カードキーシステムにより入居者は24時間利用できます。

[1階]			[2階]		
プロジェクトスペース			企業スペース		
使用料金	80㎡(2室)	月額 184,300円	使用料金	40㎡(10室)	月額 92,100円
	120㎡(2室)	月額 276,500円			

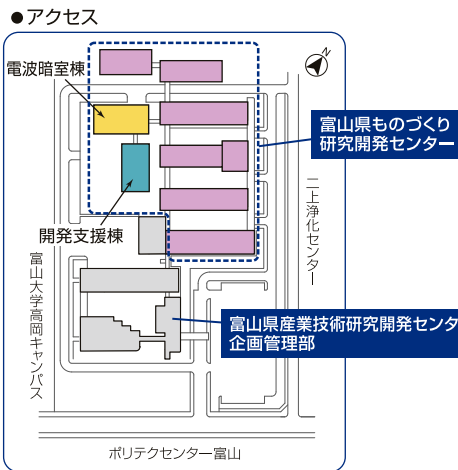


交通アクセス

- 車の場合
 - 新高岡駅から約20分、高岡駅から約15分
 - 能越自動車道 高岡北インターから約10分
- バスの場合
 - 新高岡駅前発 加越能バス「城光寺運動公園(富大高岡)」、乗車約30分「富大高岡キャンパス」下車 徒歩3分
 - 高岡駅前発 加越能バス「城光寺運動公園(富大高岡)」、乗車約15分「富大高岡キャンパス」下車 徒歩3分
- 路面電車の場合
 - 高岡駅発 万葉線、乗車約20分「米島口」下車 徒歩約20分



電波暗室(10m法、小型)／外部からの電磁波の影響を受けず、また、外部機器に影響を与えない電氣的に隔離された部屋。



高岡市二上町122
(富山県産業技術研究開発センター敷地内)
TEL.0766-50-8280 FAX.0766-50-8283

CASE 2

株式会社北熱 パイロット事業部 嶋村 公二 部長

- ▶ P.5 ●販路開拓の挑戦支援(とやま中小企業チャレンジファンド事業)
- ▶ P.7 ●産学官オープンイノベーションの推進

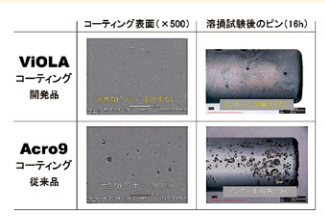
産学官連携で金型の長寿命化にチャレンジ
自動車メーカーに採用され、海外展開も...

ものづくりの業界では、合理化がますます求められ、金型のさらなる長寿命化のニーズが高まっている。金型の熱処理等を行っている(株)北熱では、それにえようと「産学官オープンイノベーション推進事業」(令和2～3年度)の採択を受けて、「アルミダイカスト成形用金型の寿命向上を実現する高機能複合表面処理の開発」にチャレンジ。金型のヒートチェック(クラック)の発生や、溶損・浸食による変形については窒化処理の高度化、コーティング膜の耐熱化・厚膜化・複合積層化により抑制できるようになったが、離型剤の均一な塗布法については不案内であった。「そこで今回は、ウェットブラスト法に詳しい富山県立大学の先生の協力を得て、金型表面に均一に微細加工をする手法を開発しました。そこに離型剤をとどまらせると、金型が抜けやすくなるのです」(嶋村部長)

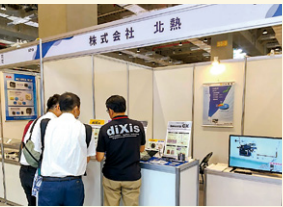
同社ではこれらの成果を生かして、厚膜タイプのPVDコーティング「ViOLA」(ヴィオラ)を商品化。金型の寿命を3倍長持ちさせ、自動車メーカーでの採用も決まった。



▲同社でコーティング処理された金型の一例。



▲今回の長寿命化で開発・商品化した「VIOLA」と従来の厚膜コーティング(Acro9)の溶損の比較。「VIOLA」は従来比で1.66倍、進化系の「VIOLA-R」は3倍の寿命になった。



▶ 同社の技術開発部門であるパイロット事業部を率いる嶋村公二部長。



▲「とやま中小企業チャレンジファンド事業 販路開拓挑戦応援事業」(令和5～6年度)の支援を受けて、台湾の展示会に出展した様子。